

第15回 長野上水内教育会夏季大学のご案内

自ら求め、学ぶ夏！

今年もまた、夏季大学でともに学びましょう！



夏季大学

申し込み方法.....下記の①または②の方法で。

①右の二次元コードで申込み ②別紙「申し込み票」を記入し代議員に渡す

開催方法.....第1～4講座は、オンラインと教育会館参集のハイブリッド開催。

第5～9講座と音楽の夕べは、現地集合。

※初任者研修1年次半日（第3講座）、キャリアアップ研修Ⅰ・Ⅱ選択講座半日（第1～9講座からの自己選択）について、

指定研修対象者本人の課題に即していると校長先生が認めた時は、夏季大学各講座を指定研修とすることができます。

※第2講座、第4講座、音楽の夕べは児童生徒・保護者・市民に公開します。二次元コードで申し込んでください。

【日程】

期 日	7月30日（火）		7月31日（水）		8月1日（木）
講座名	第1講座	第2講座	第3講座	第4講座	臨地講習
Zoom入室	8:30～9:10	12:30～13:10	9:00～9:40	12:30～13:10	午前（講座ごと）
開講式	9:15～9:35				音楽の夕べ
講義Ⅰ	9:45～10:45	13:15～14:15	9:45～10:45	13:15～14:15	17:30 開場
講義Ⅱ・質疑	11:00～12:10	14:30～15:40	11:00～12:10	14:30～15:40	18:00～19:30

*1～4講座は

定員：オンライン500名 参集20名

【第1～4講座 講師・講義題・概要】



【第1講座（歴史）】

7月30日（火）午前

講 師：宮下 健司 先生（長野市立博物館協議会会長）

講義題：「時を刻む長野の景観と私たち」

古くから信濃国の中核を始めてきた長野・上水内の風土と歴史の歩みを、松代・善光寺・戸隠の三視点から、その景観と私たちを明らかにし、その背後にある「人・もの・こと」のつながりを探ります。

*宮下健司先生の夏季大学30回記念講演となります。

【第2講座（思想・哲学）】

7月30日（火）午後

児童生徒・保護者
参加できます

講 師：ドリアン 助川 先生（作家・詩の道化師）

講義題：「私たちはなぜ生まれてきたのか？」

～小説『あん』でハンセン病回復者の人生を描いた意味～

映画にもなった小説『あん』はハンセン病問題を背景に、人が生きることを意味を新たな次元で問いかける作品です。23言語にも翻訳され、国境や宗教を超えて広く読まれているのはなぜなのか。この作品が内包する普遍的なテーマ「積極的感受」について、作者が語ります。



【第3講座（教育）】

7月31日（水）午前

講 師：土田 光子 先生（大阪多様性教育ネットワーク共同代表）

講義題：「差別の構造を考える

～知る・重ねる・深める・つながる・行動する力をつけるために～

どのような人権課題についての差別にも共通している構造がある。ちょっとした決めつけが偏見となり、排除がはじまり、最終的にはスケープゴートとして同じ立場の人の虐殺にまで発展するのが差別であることを知れば、初期の段階で差別に発展させない行動を取れる人づくりがいかに大切であるかが見えてくる。小学生用の教材を使い、生き方としての人権教育についてみなさんといっしょに考えていきたい。



【第4講座（自然科学）】

7月31日（水）午後

児童生徒・保護者
参加できます

講 師：福岡 伸一 先生（青山学院大学教授）

講義題：「生命を捉えなおす ～動的平衡の視点からⅡ～」

私たち生命とは、部品からなりたっている分子機械ではなく、部品自体のダイナミックな分解と合成の流れの中にたゆたう'分子の淀み'なのである。自らを積極的に壊し続けることによって、系内にたまるエントロピーを捨てつづけ、またそれを作り直すことで何とかバランスを保つ。私はこれを「動的平衡」と呼びたい。ポストコロナの生命哲学として、動的平衡論について考察してみたい。

また、西田幾多郎の哲学、方丈記など、日本独自の生命論等との関連についても考察したい。



【第5～9講座・音楽のタベ 講師・テーマ・概要】

- (1) 会員のみ参加できます。会員のご家族の参加につきましては、事務局に相談ください。(音楽のタベを除く)
- (2) 拝観料や乗り物代など参加費を集める講座があります。当日、受付時にご提出ください。
- (3) 表記の日程等を変更する場合があります。詳しくは後ほど配付される個別の案内でご確認ください。
- (4) 第5～9講座では雨具、日傘、飲み物等は各自でご用意ください。
- (5) 第5～9講座は保険適用となります(保険料は教育会負担)。申込時に住所等もお知らせいただきます。



【第5講座 (芸術)】

8月1日(木) 午前 県立美術館

定員
40名

講師：青山 由貴枝 さん (長野県立美術館 学芸専門員)

テーマ：「鑑賞とは ～『よくみる』ってなんだろう～」

集合：8:40 城山公園噴水前 解散：12:00 噴水前 参加費：無料 駐車場：城山小学校校庭西側
内容：「よくみる」ワーク 「長野県版アートゲーム」／「対話型鑑賞」 ＊解散後、館内自由見学可(無料)

想像力や観察力、コミュニケーション能力を伸ばす「鑑賞」について、ワークを通じて学びます。また、児童生徒が多様な見方を受容できるようになる「対話型鑑賞」を体験します。ゲームを通して鑑賞を楽しめる『長野県版アートゲーム』は、貸し出しの形で当日お持ち帰りできます。



【第6講座 (哲学)】

8月1日(木) 午前 黒姫童話館

定員
40名

講師：神戸 和佳子 先生 (長野県立大学グローバルマネジメント学部講師)

テーマ：「こどもの世界へ ～童話の森で哲学対話～」

集合：8:40 童話の森ギャラリー会議室入口 解散：12:00 童話の森ギャラリー会議室 参加費：無料
内容：A：御鹿池遊歩道散策 B：童話館展示室見学(解説つき) ＊A B交互に 駐車場：黒姫童話館駐車場

黒姫童話館で、ミヒャエル・エンデなどの児童文学や、地域の民話に触れてみましょう。天候がよければ森の中も散策します。童心に帰ると、自然に「問い」が浮かんでくるはず。そのあとは哲学対話でゆっくり考えを深めます。



【第7講座 (自然科学)】

8月1日(木) 午前 戸隠

定員
40名

講師：田辺 智隆 先生 中村 千賀 先生 (戸隠地質化石博物館研究員)

テーマ：「戸隠森林植物園や奥社周辺の自然を学ぶ(地質班20名・植物班20名)」

集合：7:20 戸隠スキー場 第1駐車場 解散：10:30 戸隠スキー場 参加費：無料
見学地：(地質班) 逆川遊歩道～念仏池 (植物班) 森林植物園～随神門 駐車場：戸隠スキー場 第1駐車場

戸隠は、戸隠山と飯縄山に囲まれた標高およそ1200mの高原にあり、自然豊かな場所です。植物園周辺で植物を観察する班(牧野富太郎と戸隠)と、地質や地形を観察する班(長野市水源～戸隠の山と水)に分かれて、人と自然とのつながりを学びます。



【第8講座 (歴史)】

8月1日(木) 午前 松代

定員
40名

講師：曲尾 正子 先生 他 (エコール・ド・まつしろ倶楽部)

テーマ：「真田十萬石城下町の伝統文化を体験(真田紐・古武道・投扇興・童謡・雅楽)」

集合：8:30 松代小学校体育館入口 解散：11:30 松代小学校音楽室 参加費：1,000円(体験料)
内容：真田紐、古武道、投扇興、童謡、松代雅楽から2つを体験 駐車場：松代小学校昇降口前駐車場

5つの講座の中から2つの講座を体験していただきます。歴史ある松代の地に伝わる伝統文化を直接体験できます。
(真田紐)：手織りストラップづくり (古武道) 武術の模範演武見学と体験 (投扇興) 伝統的なセンスを使った遊び
(童謡) 歌碑をめぐり、皆で童謡を歌う (松代雅楽) 雅楽の演奏を聞く、打楽器等の体験



【第9講座 (自然科学)】

8月1日(木) 午前 野尻湖

定員
40名

講師：近藤 洋一 先生 (野尻湖ナウマン象博物館館長)

テーマ：「野尻湖の水位変動と地球環境 ～水の歴史をさぐる～」

集合：7:50 野尻湖遊覧船乗り場受付口 解散：11:50 遊覧船乗り場駐車場 参加費：1,000円(バス・遊覧船代)
見学地：湖遊覧 発掘現場 博物館 伝九郎用水 水戸口水門 池尻川発電所 駐車場：野尻湖遊覧船乗場駐車場

野尻湖の水位変動は人間が操作する以前から、地球環境の変化と密接な関係にあることがわかってきている。ナウマンゾウの発掘地から得られた水位変動の歴史が、地球環境の変化をくわしくとらえている。現在の野尻湖の水の出入りから、灌漑用水と水力発電をうまく融合させた野尻湖の水の利用を、地球環境の変化のなかで考えます。



【音楽のタベ】

8月1日(木) 18:00～19:30 若里市民文化ホール

定員
600名

講師：こんの ひとみ さん (絵本作家・シンガーソングライター)

「小さな声に耳をかたむけていますか? ～絵本による命の授業～」

会場：若里市民文化ホール 開場17:30 開演18:00
駐車場：ビッグハット駐車場の他に、カネボウ跡地及びNHKの駐車場も利用可です。

児童生徒・保護者
参加できます

絵本作家であり、NHK「みんなのうた」への楽曲提供・歌唱などで知られるシンガーソングライターでもある こんのひとみさんが、お話と歌と自著絵本の音楽朗読を交えながら、命の大切さや家族の絆について伝えます。

作詞・作曲代表曲：「パパとあなたの影ぼうし」「夢をかなえよう」など 代表的な著書(絵本)：「くまのこうちようせんせい」「けしごむくん」など